

英語を楽しく

No. 100



☆ 楽しくなくちゃ、英語活動って い・わ・な〜い yo.
2011年から英語活動が本格化ですが、それまでにどの学校も英語活動の立案と実践をされることでしょう。でも、その英語活動で最も大切なことは何でしょう。

- ① 児童に楽しい英語活動をさせること
- ② 国際理解のある人を育てること
- ③ 児童に英語を正確に聞き取る力や発音する力をつけること
- ④ 児童が英語の文が読め、書ける力をつけること



当然 ①ですよね。楽しく英語活動をすることで、英語に関心と学ぼうとする意欲が芽生えます。すると、自ら、英語会話・英語の書物・洋画などに目が行き、より英語に対して積極的になるでしょう。そうすれば、より正確な発音をしようと思えますし、話される英語もより正確に聞き取ろうと努力するものです。また、英語を学ぶことで海外の人とも交流することが増え、否が応でも国際理解のある人になるでしょう。

楽しい英語活動をすることは、②③④をすべて含んでいると言っても過言ではありません。ですから、

「なんとしても、英語活動の時間を本当に楽しくする」ことが大切です。

そのためには、複数の人数で活動計画を立てることが必要です。3人寄れば文殊の知恵のごとく。多人数で考えればいい考えが思いつくもの。そんな経験はありませんか。

次に、「英語話せないのに できるかな?」と思っている方、大丈夫、小学校は英語会話を指導する所ではありませんし、難しい英語を使って説明するのでも ALT と英語会話をして、児童を活動させる所でもありません。

「英語が話せる。しかも長い文を、難しい単語とイディオムですらすらと」といったことはできていいですが、ややともすれば自分の英語力に溺れ、子供のころから遠く離れた英語活動をしがちになるのでないかと思えます。ですが、そのような心配がない担任なら(失礼、決して悪気で言っているのではありません)「弱点を生かす。」とでも言いますか。子供と同じレベルに立ち、一人一人の児童を把握し、楽しい英語活動を仕組むことが出来ると思えます。

どの小学校も、これから英語活動に対して研究と実践が待っているわけですが、決して困難はないはず。教師自身が児童の視線で英語活動の内容を考え、そして、

- ① 自信を持って児童が楽しめると思うものをする。
- ② 教師自身もリラックスして活動の時間が過ごせることをする。

この2点を充実させることに力を入れられれば、きっとよい結果が出ると思えます。

